

# 生き生きと動く子どもを育てる教育課程の編成



鹿児島大学教育学部附属養護学校

## は じ め に

学校長 松 下 為 隆

本校が現在地の新校舎に移転したのは昭和57年4月であった。それまでは教育学部の建物の一部や附属小・中学校の教室を借用し、小・中学部は分散授業を余儀なくされた。昭和56年度から学年進行で高等部を設置し、ことしの3月、はじめての卒業生を職場へ送り出すことができた。

新設校には予期しない問題や緊急を要する課題が山積しているのであるが教育課程の編成も大きな課題の一つである。本校では開校当初から「発達に即応した教育課程の編成」を目指して研究実践を積み重ね昭和57年度に「動きに視点を当てた生活単元学習の展開」というテーマのもとに第一回の研究公開を開催することができた。

58年度は前述したように高等部の完成年度で生徒数も漸増し、入学する子どもたちの障害も年毎に重度化、多様化の傾向がみられた。また、教職員もほぼ陣客が整い人的、物的面の整備が進み、これまでの指導計画を見直し児童生徒の実態や学校の実情に即したものに修正するの必要に迫られた。生活単元学習については過去2年間の研究と実践で一応の成案を作成したので生活単元学習以外の各教科、領域等に焦点を絞り二か年計画で改訂し学校としての教育課程を完成させようとするものである。

この研究を進めるに当って特に配慮したことは「生き生きと動く子どもを育てる教育課程の編成」をテーマとしこれまでの実践と反省をもとに理論面の研究を深めると同時に児童生徒の障害の状態や発達段階を検討し、指導内容の精選を図り小・中・高一貫した指導計画にすること。さらに各学部が当面している課題を取り上げることにした。従って研究の組織は学部の枠を外したグループ研究班と学部研究班に分け両者を密接に関連させながら進めることにした。

研究を推進するに当たり、たえず懇切なご指導をいただきました教育学部、県、市教育委員会、教育センターの先生方に深甚の謝意を表する次第です。

# 総目次

はじめに

I	研究の立場	1
1.	テーマ設定の理由	1
2.	研究のあゆみ	1
3.	生き生きと動くとは	1
4.	研究内容	5
5.	研究組織	5
6.	研究計画	5
II	小学部の研究	7
III	中学部の研究	38
IV	高等部の研究	59

おわりに